

めざす子ども像	自ら考え判断し行動できる子ども ・ 違いを理解し自他を尊重する子ども							
実現するための3つの力	1. 自己表現力 感じたことを自分なりに表現する力 → 観て、聴いて、感じたこと、考えたことを自分らしく表現する。 2. 課題探究力 学ぶ力 → 自分なりに考えたり、試したり、工夫したりするなど、積極的に多様な関わりを楽しむ。 3. 社会参画力 人と関わる力 → 愛情や信頼感をもち、互いの思いや考えなど共有し、協力して一緒に活動を楽しむ。							
	観 点	好奇心 興味・関心 愛着関係	好奇心 興味・関心 情緒の安定	想像力 興味・関心 他者への関心	自己発揮 興味・関心 協調性	達成感 試行錯誤 自己抑制	発想力 実行力 共感力	安心 意欲 他者尊重
年 齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	小学校 1 年生	小学校 2 年生
育てたい子どもの姿	【3か月未満】 ・安心できる環境の中で、個々の生活リズムを整える。 ・大人に抱かれて心地良さを 感じ、人との信頼関係を育む。 【6か月～9か月未満】 ・身近な保育者等に親しみを強く持ち、同時に他の大人にも関心をもつ。 【9か月～12か月未満】 ・興味を持ったものに視線を向けたり、指差しをしたりして、言葉と一致させようとする。	・活動範囲が広がり、自然物や身近なもの、遊具に興味をもつ。 ・話しかけややり取りの中で、感情表現が豊かになり、ことばや気持ち、自分の欲求を表そうとする。 ・安心できる保育者との関係をもとに、身の周りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・保育者や友だちへの関心や物への好奇心を持ち、真似をしたりして、自ら関わろうとする。 ・問いと答えの関係が成立する。	・心身共に快適な生活を送ることにより、行動範囲が広がり、探索活動が盛んになる。 ・生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持ち、友だちの気持ちを受容し共感する。 ・自然と触れ合う中で、好奇心や探究心が生まれてくる。 ・基本的生活習慣に関心をもち、自分でできる喜びを知る。 ・自分の身体の使い方がわかり、身体機能の調節ができる。 ・保育者や友だちと遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませる。	・友だちの話を聞いたり、保育者に質問したり、興味を持ったことばによるイメージを楽しむ。 ・生活や遊びの中で、文字や数、図形や量等に関心を持ち、いろいろな場面で使って楽しむ。 ・自分の身体を思ったように動かすことを楽しみ、手・指活動が巧みになる。 ・生活で必要なことばを理解し、保育者や友だちとことばで交流したり、行動で表現したりする。	・保育者や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動ができるようになる。 ・自分のイメージを、動きやことば等いろいろな方法で表現して遊ぶ楽しさを味わう。 ・様々な素材を組み合わせることで、より多様な表現を試みる。 ・ものごとを探究することへの喜びを感じる。 ・身近な社会や自然の事象に興味や関心を持ち、豊かな感性を身に付ける。 ・自分の思いを伝え、相手の思いもわかり、気持ちをコントロールしようとする。	・保育者や友だちの話を聞き、内容を理解したり、自分の気持ちを伝えようとする。 ・友だちと意見を出し合いながら、遊びの幅を広げていく。 ・生活や遊びの中で、同じ目的に向かって力を合わせて取り組み、成し遂げていく達成感や充実感を味わう。 ・自分のイメージを動きやことば等で表現したり、演じたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・生活や遊びの中で、簡単な数量、図形、標識や文字等に関心を持つ。	・幼稚園・保育所等の生活に近い活動を取り入れることで、安心して過ごすことができる。 ・生活の中で、気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試行錯誤して表現したりする。 ・気付いたことを、先生や友だちに見せたり、伝えたり、説明したりすることができる。 ・ものや事象に対して、一人でじっくり活動し、違いを比較したり組み合わせたりしながら考える。 ・見たり聞いたりした友だちの活動を、自分の活動に生かすことができる。	・安心して生活することで、自信や意欲が生まれ、自分の持つ力を発揮することができる。 ・生活の中で、気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試行錯誤して表現したりする。 ・気付いたことを、先生や友だちに見せたり、伝えたり、説明したりすることができる。 ・ものや事象に対して、一人でじっくり活動し、違いを比較したり組み合わせたりしながら考える。 ・見たり聞いたりした友だちの活動を、自分の活動に生かすことができる。
	具体的な活動例	・わらべうた ・道具の操作あそび (ボタンおとしなど)	・水、砂、土あそび ・ままごとあそび ・運動あそび	・色水あそび ・役割あそび ・自然物あつめ (どんぐりなど)	・氷あそび ・泥だんごづくり ・造形あそび	・光あそび ・斜面あそび ・構成あそび	・舟づくり ・音あそび ・劇あそび	かがく遊び、かがく遊びが発展した遊び、表現遊び、まちたんけん、いきものさがし、お店屋さん など
援助・配慮留意点	1. 子どもが不思議だと思ったことや疑問に思うことに対して共感し、じっくりと考えられる雰囲気づくりをする。 2. 子どもの行動を見守り、子どもの「つぶやき」に気付く。 3. 子どもの気持ちに寄り添い、小さな声で言葉かけをする。 4. 探究心を深められるような環境構成(準備)をし、子どもの発想やアイデアが生かされるように臨機応変に対応する。 5. 必要なものをタイミングよく提供できるよう、子どもの興味に沿った環境を整えていく。				6. 発見があふれる豊かな環境を設定し、安心して試行錯誤ができるようにする。 7. 子どもの知的好奇心を膨らませるよう、共感したり認めたりする言葉をかける。 8. 子どもが不思議だと思ったことに、十分追究できる時間の確保をする。 9. 子どもの気づきや発見に共感し、認めることで、次の意欲へとつなげていく。 10. 子どもが心を動かす感動体験をしたとき、その感動をいろいろな人と分かち合えるようにする。			